

問1 室町幕府の8代将軍で、京都の東山に「銀閣」を建て、独自の文化を広めた人物はだれでしょう。

1. 徳川家康 2. 織田信長 3. 足利義満 4. 足利義政

問2 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。

1. 幕府の命令に従って、新しいお寺を建てる動き 2. 実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動き 3. 貴族たちが、昔から伝わる古い決まりを守ろうとする動き 4. 豊かな商人が、貧しい農民に食べ物を分け与える動き

問3 幕府が防塁（ぼうるい）を築かせた目的や場所について、正しい説明はどれですか。

1. 幕府の力を示すために、鎌倉の山の中に築かせた。 2. 元と貿易をさかんにするために、港の近くに築かせた。 3. 1回目の来襲の前に、元を攻撃するための基地として築かせた。 4. 元の2回目の来襲にそなえて、海岸沿いなどに守るために築かせた。

問4 14世紀に、足利尊氏（あしかがたかうじ）が京都に開いた幕府を何といますか。

1. 室町幕府 2. 明治政府 3. 江戸幕府 4. 鎌倉幕府

問5 観阿弥と世阿弥が完成させた「能」が、当時の武士や貴族の間で大切にされるようになった理由として、正しいものはどれでしょう。

1. 江戸時代に全国の農村で誰でも踊れるようになったから 2. 観阿弥と世阿弥が新しいお金の計算方法を広めたから 3. 芸術としての完成度が高く、洗練された芸能として認められたから 4. 当時流行していた歌舞伎と組み合わせさせて娯楽にしたから

問6 元（げん）が2回目の来襲（らいしゅう）をしてくることにそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた、守りのための石の壁を何といますか。

1. 守護 2. 関所 3. 地頭 4. 防塁

問7 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といますか。

1. 鎌倉幕府 2. 室町幕府 3. 朝廷 4. 江戸幕府

問8 室町文化の特徴として、当時の庶民の生活の様子をあらわしているものはどれですか。

1. 祭りや盆踊りが庶民の間でも定着した 2. すべての庶民が屋敷を持ち茶の湯を楽しんだ 3. 漢字を読み書きするための学校が全国に作られた 4. 貴族の言葉が全国の庶民の標準語になった

問9 室町時代に、父と子で協力して「能（のう）」という芸能を芸術として完成させた二人の人物はだれでしょう。

1. 狩野永徳と狩野探幽 2. 源頼朝と足利尊氏 3. 観阿弥と世阿弥 4. 雪舟と一休宗純

問10 源氏の将軍が途絶えた後、執権の役職について政治を行ったのは何氏ですか。

1. 足利氏 2. 北条氏 3. 藤原氏 4. 平氏

問11 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動きや風潮のことを何といますか。

1. 守護大名 2. 土一揆 3. 惣村 4. 下剋上

問12 中世の時代に、各地で「定期市」が作られるようになったきっかけは何ですか。

1. 商業が盛んになったこと 2. すべての道に関所ができたこと 3. 外国との戦争が始まったこと 4. 農業が禁止されたこと

問13 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。

1. お金を稼ぐための仕事だったから 2. 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから 3. 外国との貿易をすすめるための合図だったから 4. 将軍が強制的に練習させたから

問14 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。

1. 徒然草 2. 枕草子 3. 方丈記 4. 平家物語

問15 鎌倉時代に、将軍を補佐して政治を行うために置かれた役職は何ですか。

1. 守護 2. 地頭 3. 執権 4. 御家人

問16 鎌倉幕府がつくった、武士の裁判の基準となる法律は何ですか。

1. 御成敗式目 2. 武家諸法度 3. 大宝律令 4. 十七条の憲法

問17 鎌倉時代に西日本で始まった、稲を刈り取ったあとの田畑で麦などをつくる農業の方法を何といますか。

1. 二期作 2. 新田開発 3. 二毛作 4. 輪作

問18 室町時代に生まれた文化のうち、能の合間に演じられた、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇を何といますか。

1. 狂言 2. 水墨画 3. 書院造 4. 茶の湯

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 4 足利義政	足利義政は、室町時代の中ごろに活躍した8代将軍です。京都の東山に銀閣を建て、当時の文化である「東山文化」の中心となりました。ちなみに、金閣を建てたのは3代将軍の足利義満です。
問2	答え 2 実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動き	下剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことです。
問3	答え 4 元の2回目の来襲にそなえて、海岸沿いなどに守るために築かせた。	防塁は、元の2度目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁です。攻撃用や貿易用、山の中のものではありません。
問4	答え 1 室町幕府	足利氏によって京都に開かれた政権は室町幕府と呼ばれます。源頼朝が作った鎌倉幕府や、徳川家康が作った江戸幕府とは、開かれた場所や時代が異なります。
問5	答え 3 芸術としての完成度が高く、洗練された芸能として認められたから	能は単なる踊りではなく、舞台芸術としての高いレベルを備えていました。そのため、教養のある武士や貴族にとって、能を見ることは当時の文化を味わうための重要な楽しみとなりました。歌舞伎は後の江戸時代に発展した芸能であり、この時期の能とは異なります。
問6	答え 4 防塁	元の2回目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁（石塁）を防塁といいます。
問7	答え 1 鎌倉幕府	源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。
問8	答え 1 祭りや盆踊りが庶民の間でも定着した	室町時代は、武士や貴族だけでなく、庶民の間でも文化が広がった時代です。各地で季節の行事である祭りや盆踊りが楽しめるようになり、人々の生活に文化が根付いていきました。
問9	答え 3 観阿弥と世阿弥	二人は室町時代に活躍した親子です。それまで各地で行われていた芸能をまとめ上げ、物語性や芸術性の高い「能」という形に仕上げました。この能は、当時の武士や貴族たちにも深く愛され、今日まで続く日本の伝統芸能として根付きました。
問10	答え 2 北条氏	源氏の将軍が途絶えた後は、北条氏が執権の役職について政治を行いました。
問11	答え 4 下剋上	実力のある者が上の身分の者にとって代わる動きや風潮を「下剋上」といいます。
問12	答え 1 商業が盛んになったこと	定期市は、商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場です。
問13	答え 2 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから	当時の武士や貴族にとって、静かに茶を点てたり花を生けたりすることは、自分の心を見つめ直す精神修養（精神をきたえること）や、大切な客人を招いてお互いの心を通わせる大切な交流の手段でした。
問14	答え 1 徒然草	鎌倉時代に吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は「徒然草」です。
問15	答え 3 執権	将軍を補佐して政治を行う役職を執権といいます。
問16	答え 1 御成敗式目	鎌倉幕府がつくった、武士の裁判の基準となる法律を御成敗式目といいます。
問17	答え 3 二毛作	稲を刈り取ったあとの田畑で麦などをつくる農業の方法を二毛作といいます。
問18	答え 1 狂言	能の合間に演じられ、庶民の生活をユーモラス（おもしろおかしく）に描いた劇を狂言といいます。

問1 源頼朝の弟である源義経が、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、最終的に平氏をほろぼした場所はどこですか。

1. 関ヶ原 2. 桶狭間 3. 壇ノ浦 4. 室町

問2 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。

1. 幕府の命令に従って、新しいお寺を建てる動き 2. 実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動き 3. 貴族たちが、昔から伝わる古い決まりを守ろうとする動き 4. 豊かな商人が、貧しい農民に食べ物分け与える動き

問3 日本に攻めてきた「元」は、もともとどこの地域の一部の人々が中国を支配してつくった国ですか。

1. インド 2. モンゴル 3. ヨーロッパ 4. 東南アジア

問4 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。

1. お金を稼ぐための仕事だったから 2. 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから 3. 外国との貿易をすすめるための合図だったから 4. 将軍が強制的に練習させたから

問5 源頼朝が国ごとに置いた「守護」の仕事として、正しいものはどれですか。

1. 御家人の取りしまりや軍事、警察などを行うこと。 2. 外国との貿易を進めて、めずらしい品物を輸入すること。 3. 新しいお寺や神社を建てて、仏教を広めること。 4. 全国の田んぼや畑を耕して、米や野菜を作ること。

問6 室町文化の特徴として、当時の庶民の生活の様子をあらわしているものはどれですか。

1. 祭りや盆踊りが庶民の間でも定着した 2. すべての庶民が屋敷を持ち茶の湯を楽しんだ 3. 漢字を読み書きするための学校が全国に作られた 4. 貴族の言葉が全国の庶民の標準語になった

問7 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をとおこなうときの基準として定められた法律ですか。

1. 武士の裁判 2. 外国との貿易 3. お寺の建設 4. 朝廷の儀式

問8 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何かですか。

1. 金閣 2. 銀閣 3. 東大寺 4. 法隆寺

問9 商業が盛んになるにつれて、各地で決まった日に開かれるようになった市場を何といいますか。

1. 問丸 2. 座 3. 関所 4. 定期市

問10 源頼朝の妻で、頼朝が亡くなったあとに、朝廷が幕府をたおそうとしておこした承久の乱のときに、御家人たちを団結させた人物はだれですか。

1. 北条政子 2. 清少納言 3. 紫式部 4. 日野富子

問11 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いにおいて、幕府側の御家人たちが団結して朝廷の軍を打ち破るきっかけとなった、うったえをおこなった人物はだれですか。

1. 源義経 2. 北条政子 3. 北条時宗 4. 源頼朝

問12 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼした山口県にある場所はどこですか。

1. 鎌倉 2. 京都 3. 平泉 4. 壇ノ浦

問13 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。

1. 新しい仏教 2. 外国の仏教 3. 古い仏教 4. 貴族の仏教

問14 北条時宗が元軍との戦いに備えて、守りを固めるために武士たちに築かせたものは何ですか。

1. 防塁 2. お城 3. 関所 4. 大仏

問15 元（げん）が2回目の来襲（らいしゅう）をしてくることにそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた、守りのための石の壁を何といいますか。

1. 守護 2. 関所 3. 地頭 4. 防塁

問16 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。

1. 徒然草 2. 枕草子 3. 方丈記 4. 平家物語

問17 書院造の具体的な特徴として、ふすまや障子、畳などが使われていることがあげられますが、これは現代の何のものになったものですか。

1. 和室 2. 洋室 3. 台所 4. お風呂

問18 室町幕府において、大きな力を持つようになった有力な守護のことを何と呼びますか。

1. 御家人 2. 戦国大名 3. 守護大名 4. 地頭

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 3 壇ノ浦	源義経は平氏を西国へと追いつめ、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼしました。
問2	答え 2 実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動き	当剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことです。
問3	答え 2 モンゴル	元は、モンゴルの一部の国が中国を支配してつくった国で、日本にも攻めてきました。
問4	答え 2 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから	当時の武士や貴族にとって、静かに茶を点てたり花を生けたりすることは、自分の心を見つめ直す精神修養（精神をきたえること）や、大切な客人を招いてお互いの心を通わせる大切な交流の手段でした。
問5	答え 1 御家人の取りしまりや軍事、警察などを行うこと。	守護は、国ごとに置かれて御家人の取りしまりや軍事、警察などの役割を果たしました。
問6	答え 1 祭りや盆踊りが庶民の間でも定着した	室町時代は、武士や貴族だけでなく、庶民の間でも文化が広がった時代です。各地で季節の行事である祭りや盆踊りが楽しめるようになり、人々の生活に文化が根付いていきました。
問7	答え 1 武士の裁判	御成敗式目は、武士の裁判を正しくおこなうための基準としてつくられた法律です。
問8	答え 1 金閣	3代将軍の足利義満が京都の北山に建てた建物は、金閣です。
問9	答え 4 定期市	商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場を定期市といいます。
問10	答え 1 北条政子	北条政子は源頼朝の妻で、頼朝の死後に幕府の危機を乗り越えるため、御家人たちを団結させた人物です。
問11	答え 2 北条政子	承久の乱では、北条政子のうったえによって幕府側の御家人たちが団結し、朝廷の軍を打ち破りました。
問12	答え 4 壇ノ浦	壇ノ浦は、源義経が率いる源氏の軍が平氏を追いつめてほろぼした、山口県にある場所です。
問13	答え 1 新しい仏教	鎌倉時代には、それまでの難しい仏教とは異なり、武士や農民にも理解しやすい「新しい仏教」が広まりました。
問14	答え 1 防塁	北条時宗は、元軍の攻撃から守りを固めるために、武士たちに防塁を築かせました。
問15	答え 4 防塁	元の2回目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁（石塁）を防塁といいます。
問16	答え 1 徒然草	鎌倉時代に吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は「徒然草」です。
問17	答え 1 和室	書院造は、ふすまや障子、畳などが使われており、現代の和室のもとになった建築様式です。
問18	答え 3 守護大名	室町幕府の時代に、大きな力を持つようになった有力な守護のことを守護大名と呼びます。

問1 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いで、幕府側の御家人たちが朝廷の軍を打ち破ったできごとは何ですか。

1. 平治の乱 2. 応仁の乱 3. 承久の乱 4. 壇ノ浦の戦い

問2 鎌倉時代に、将軍を補佐して政治を行うために置かれた役職は何ですか。

1. 守護 2. 地頭 3. 執権 4. 御家人

問3 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何とといいますか。

1. 日宋貿易 2. 南蛮貿易 3. 朱印船貿易 4. 勘合貿易

問4 鎌倉時代に西日本で始まった、稲を刈り取ったあとの田畑で麦などをつくる農業の方法を何とといいますか。

1. 二期作 2. 新田開発 3. 二毛作 4. 輪作

問5 室町時代に大成された伝統芸能である「能」は、劇の中でどのようなものを用いて演じる特徴がありますか。

1. 大きな傘 2. 仮面 3. 派手な化粧 4. 人形

問6 室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを用いて演じる伝統芸能は何ですか。

1. 茶の湯 2. 落語 3. 能 4. 歌舞伎

問7 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をとおこなうときの基準として定められた法律ですか。

1. 武士の裁判 2. 外国との貿易 3. お寺の建設 4. 朝廷の儀式

問8 鎌倉幕府の8代執権で、武士を九州に集めて元軍と戦った人物はだれですか。

1. 北条泰時 2. 北条時宗 3. 足利尊氏 4. 源頼朝

問9 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いにおいて、幕府側の御家人たちが団結して朝廷の軍を打ち破るきっかけとなった、うったえをおこなった人物はだれですか。

1. 源義経 2. 北条政子 3. 北条時宗 4. 源頼朝

問10 室町時代に、団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱のことを何とといいますか。

1. 土一揆 2. 惣村 3. 徳政令 4. 守護大名

問11 室町幕府の8代将軍である足利義政が、京都の東山に建てた建物は何ですか。

1. 清水寺 2. 平等院鳳凰堂 3. 金閣 4. 銀閣

問12 銀閣の敷地内にある東求堂に見られる、ふすまや障子、畳などが使われた、現代の和室のもとになった建築様式を何とといいますか。

1. 合掌造 2. 書院造 3. 寝殿造 4. 校倉造

問13 商業が盛んになるにつれて、各地で決まった日に開かれるようになった市場を何とといいますか。

1. 問丸 2. 座 3. 関所 4. 定期市

問14 足利義満が中国の明との貿易を始めた大きな目的は何だと考えられますか。

1. 貿易によって利益を得て幕府の力を強めるため 2. 中国の皇帝になるため 3. 新しい農業の技術を取り入れるため 4. 日本にお寺を増やすため

問15 平家物語は、どのような人々によって人々に語り伝えられましたか。

1. びわ法師 2. 朝廷の貴族 3. 鎌倉の武士 4. 外国の商人

問16 日本に攻めてきた「元」は、もともとどこの地域の一部の人々が中国を支配してつくった国ですか。

1. インド 2. モンゴル 3. ヨーロッパ 4. 東南アジア

問17 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何とといいますか。

1. 鎌倉幕府 2. 室町幕府 3. 朝廷 4. 江戸幕府

問18 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。

1. 新しい仏教 2. 外国の仏教 3. 古い仏教 4. 貴族の仏教

問19 吉田兼好が書いた「徒然草」は、何時代に書かれた随筆ですか。

1. 平安時代 2. 室町時代 3. 鎌倉時代 4. 江戸時代

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 3 承久の乱	朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いで、幕府側の御家人たちが朝廷の軍を打ち破ったできごとを承久の乱といいます。
問2	答え 3 執権	将軍を補佐して政治を行う役職を執権といいます。
問3	答え 4 勘合貿易	3代将軍の足利義満が明（中国）との間で行った貿易を「勘合貿易」といいます。
問4	答え 3 二毛作	稲を刈り取ったあとの田畑で麦などをつくる農業の方法を二毛作といいます。
問5	答え 2 仮面	能は、顔に「仮面」をつけて演じることが大きな特徴である伝統芸能です。
問6	答え 3 能	室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを使って演じる伝統芸能を「能」といいます。
問7	答え 1 武士の裁判	御成敗式目は、武士の裁判を正しくおこなうための基準としてつくられた法律です。
問8	答え 2 北条時宗	鎌倉幕府の8代執権である北条時宗は、元軍の襲来に対して武士を九州に集めて戦いました。
問9	答え 2 北条政子	承久の乱では、北条政子のうったえによって幕府側の御家人たちが団結し、朝廷の軍を打ち破りました。
問10	答え 1 土一揆	団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱を土一揆といいます。
問11	答え 4 銀閣	室町幕府の8代将軍である足利義政が、京都の東山に建てた建物は銀閣です。
問12	答え 2 書院造	銀閣の東求堂に見られる、ふすまや障子、畳などを使った建築様式を書院造といい、現代の和室のもとになりました。
問13	答え 4 定期市	商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場を定期市といいます。
問14	答え 1 貿易によって利益を得て幕府の力を強めるため	足利義満は、貿易で得た富を使って幕府の権威を高めようとしてしました。金閣のような豪華な建物を造ることができたのも、この貿易で多くの利益を得ていたことが大きな理由の一つです。
問15	答え 1 びわ法師	平家物語は、びわ法師と呼ばれる人たちによって、語り伝えられました。
問16	答え 2 モンゴル	元は、モンゴルの一部の国が中国を支配してつくった国で、日本にも攻めてきました。
問17	答え 1 鎌倉幕府	源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。
問18	答え 1 新しい仏教	鎌倉時代には、それまでの難しい仏教とは異なり、武士や農民にも理解しやすい「新しい仏教」が広まりました。
問19	答え 3 鎌倉時代	徒然草は、吉田兼好（兼好法師）によって鎌倉時代に書かれた随筆です。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 武士	鎌倉幕府は、源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権です。
問2	答え 3 西日本	二毛作は、鎌倉時代に西日本で行われた農業の方法です。
問3	答え 2 実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動き	下剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことです。
問4	答え 4 防塁	元の2回目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁（石塁）を防塁といいます。
問5	答え 1 びわ法師	平家物語は、びわ法師と呼ばれる人たちによって、語り伝えられました。
問6	答え 2 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼしました。	壇ノ浦では、源義経が率いる源氏の軍が平氏を追いつめてほろぼしたことが正しい説明です。
問7	答え 1 北条政子	北条政子は源頼朝の妻で、頼朝の死後に幕府の危機を乗り越えるため、御家人たちを団結させた人物です。
問8	答え 4 定期市	商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場を定期市といいます。
問9	答え 2 北条政子	承久の乱では、北条政子のうったえによって幕府側の御家人たちが団結し、朝廷の軍を打ち破りました。
問10	答え 3 執権	将軍を補佐して政治を行う役職を執権といいます。
問11	答え 3 能	室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを使って演じる伝統芸能を「能」といいます。
問12	答え 4 元の2回目の来襲にそなえて、海岸沿いなどに守るために築かせた。	防塁は、元の2度目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁です。攻撃用や貿易用、山の中のものではありません。
問13	答え 1 商業が盛んになったこと	定期市は、商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場です。
問14	答え 3 壇ノ浦	源義経は平氏を西国へと追いつめ、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼしました。
問15	答え 4 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を支えた将軍です。対外貿易による利益を活用し、北山文化を代表する建築物である金閣を建てました。ちなみに、銀閣を建てたのは8代将軍の足利義政です。混同しないように注意しましょう。
問16	答え 2 独自の武家文化や新しい芸術が発展した	室町時代には、将軍が政治を行う一方で、文化や芸術を大切にしました。そのため、この時代には日本独自の武家文化が生まれ、華やかな芸術が大きく発展することとなりました。
問17	答え 3 御家人	将軍の家来となった武士のことを御家人と呼びます。
問18	答え 2 北条氏	源氏の将軍が途絶えた後は、北条氏が執権の役職について政治を行いました。

問1 平氏をたおすために兵をあげ、1192年に征夷大将軍に任命されて鎌倉幕府を開いた人物はだれですか。

1. 源義経 2. 平清盛 3. 足利尊氏 4. 源頼朝

問2 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。

1. 国司 2. 地頭 3. 執権 4. 守護

問3 浄土真宗（一向宗）の信者たちが、みんなで団結して起こした一揆のことを何といいますか。

1. 徳政一揆 2. 土一揆 3. 一向一揆 4. 国一揆

問4 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。

1. 源義経 2. 源頼家 3. 足利尊氏 4. 平清盛

問5 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。

1. お金を稼ぐための仕事だったから 2. 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから 3. 外国との貿易をすすめるための合図だったから 4. 将軍が強制的に練習させたから

問6 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がおれるまでの約140年間のことを何といいますか。

1. 室町時代 2. 江戸時代 3. 平安時代 4. 鎌倉時代

問7 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。

1. 唐 2. 明 3. 元 4. 宋

問8 農民たちが土一揆を起こした理由として、正しいものはどれですか。

1. 新しい仏教を広めるため 2. 重い年貢などに反対するため 3. 外国との貿易を始めるため 4. 幕府の将軍を新しく決めるため

問9 室町時代に、父と子で協力して「能（のう）」という芸能を芸術として完成させた二人の人物はだれでしょう。

1. 狩野永徳と狩野探幽 2. 源頼朝と足利尊氏 3. 観阿弥と世阿弥 4. 雪舟と一休宗純

問10 北条政子が、亡くなった夫の源頼朝の恩をうたえて御家人たちを団結させたのは、朝廷が幕府をたおそうとしておこした何という出来事の時ですか。

1. 応仁の乱 2. 承久の乱 3. 壬申の乱 4. 壇ノ浦の戦い

問11 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。

1. 鎌倉幕府 2. 室町幕府 3. 朝廷 4. 江戸幕府

問12 室町文化の特徴として、当時の庶民の生活の様子をあらわしているものはどれですか。

1. 祭りや盆踊りが庶民の間でも定着した 2. すべての庶民が屋敷を持ち茶の湯を楽しんだ 3. 漢字を読み書きするための学校が全国に作られた 4. 貴族の言葉が全国の庶民の標準語になった

問13 足利義満が中国の明との貿易を始めた大きな目的は何だと考えられますか。

1. 貿易によって利益を得て幕府の力を強めるため 2. 中国の皇帝になるため 3. 新しい農業の技術を取り入れるため 4. 日本にお寺を増やすため

問14 室町時代に始まった「狂言」とは、どのような劇ですか。

1. 神社の祭りで演奏され、神様への感謝を表すための音楽 2. 外国から伝わった、手品や曲芸を組み合わせた見世物 3. 武士の決まりごとを覚えるために、学校で歌われた歌 4. 能の合間に演じられ、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇

問15 足利義政が将軍だったころ、京都で大きな戦乱が起こり、町が荒れてしまいました。この戦乱を何といいますか。

1. 応仁の乱 2. 桶狭間の戦い 3. 元寇 4. 関ヶ原の戦い

問16 平家物語は、どのような人たちによって人々に語り伝えられましたか。

1. びわ法師 2. 朝廷の貴族 3. 鎌倉の武士 4. 外国の商人

問17 鎌倉幕府の8代執権で、武士を九州に集めて元軍と戦った人物はだれですか。

1. 北条泰時 2. 北条時宗 3. 足利尊氏 4. 源頼朝

問18 源氏の将軍が途絶えた後、執権の役職について政治を行ったのは何氏ですか。

1. 足利氏 2. 北条氏 3. 藤原氏 4. 平氏

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 4 源頼朝	源頼朝は、平氏をたおすために立ち上がり、1192年に征夷大将軍となって鎌倉幕府を開きました。
問2	答え 4 守護	源頼朝が国ごとに置いた、御家人の取りしまりや軍事・警察などを行う役職を守護といいます。
問3	答え 3 一向一揆	浄土真宗（一向宗）の信者たちが団結して起こした一揆を一向一揆といいます。
問4	答え 1 源義経	源義経は源頼朝の弟であり、源氏の軍を率いて平氏を壇ノ浦でほろぼした人物です。
問5	答え 2 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから	当時の武士や貴族にとって、静かに茶を点てたり花を生けたりすることは、自分の心を見つめ直す精神修養（精神をきたえること）や、大切な客人を招いてお互いの心を通わせる大切な交流の手段でした。
問6	答え 4 鎌倉時代	源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを鎌倉時代といいます。
問7	答え 3 元	13世紀に中国を支配したモンゴルの一部の国で、日本を支配しようと攻めてきた国は「元」です。
問8	答え 2 重い年貢などに反対するため	土一揆は、農民たちが重い年貢などに反対することを目的として起こされました。
問9	答え 3 観阿弥と世阿弥	二人は室町時代に活躍した親子です。それまで各地で行われていた芸能をまとめ上げ、物語性や芸術性の高い「能」という形に仕上げました。この能は、当時の武士や貴族たちにも深く愛され、今日まで続く日本の伝統芸能として根付きました。
問10	答え 2 承久の乱	北条政子は、朝廷が幕府を倒そうとして起こした「承久の乱」の際に、御家人たちに呼びかけて団結させました。
問11	答え 1 鎌倉幕府	源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。
問12	答え 1 祭りや盆踊りが庶民の間でも定着した	室町時代は、武士や貴族だけでなく、庶民の間でも文化が広がった時代です。各地で季節の行事である祭りや盆踊りが楽しめるようになり、人々の生活に文化が根付いていきました。
問13	答え 1 貿易によって利益を得て幕府の力を強めるため	足利義満は、貿易で得た富を使って幕府の権威を高めようとしてしました。金閣のような豪華な建物を造ることができたのも、この貿易で多くの利益を得ていたことが大きな理由の一つです。
問14	答え 4 能の合間に演じられ、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇	狂言は、能の合間に演じられた劇で、庶民の日常の様子などをユーモラスに表現したのが特徴です。
問15	答え 1 応仁の乱	足利義政の時代に、後の將軍の座や有力な大名の家督相続をめぐる、京都を中心に「応仁の乱」という長期間の戦いが起きました。この戦いにより京都の町は大きく荒れてしまい、室町幕府の力も弱まっていきました。
問16	答え 1 びわ法師	平家物語は、びわ法師と呼ばれる人たちによって、語り伝えられました。
問17	答え 2 北条時宗	鎌倉幕府の8代執権である北条時宗は、元軍の襲来に対して武士を九州に集めて戦いました。
問18	答え 2 北条氏	源氏の將軍が途絶えた後は、北条氏が執権の役職について政治を行いました。